

# 住宅の耐震化について

## 知っていましたか？

熊本地震で、益城町では旧耐震基準の木造建物702棟のうち225棟が倒壊し、新耐震基準の建物も1,042棟のうち80棟が倒壊していたということを…。

### ●益城町中心部における木造建物の建築時期別倒壊数

建築時期	全体(棟)	倒壊(棟)	倒壊率
～1981年5月(旧耐震基準)	702	225	32.1%
1981年6月～(新耐震基準)	1,042	80	7.6%

※国土交通省及び国立研究開発法人建築研究所  
「第2回 熊本地震における建築物被害の原因分析を行う委員会」議事より

## ■■■■ 熊本地震益城町住宅倒壊写真 ■■■■

### 【益城町木山地区】

倒壊している住宅は、1981年以前の建物(旧耐震基準)、開口部が多く倒壊している。



## 圧死を防ぐ耐震化の重要性

阪神・淡路大震災では死者の約8割、熊本地震では死者の約7割が建物の倒壊や家具の転倒による圧死・窒息によるものでした。

昭和56年5月以前の建物は耐震診断を受け、必要があれば耐震改修を行いましょう。

あなたの  
お住まいは  
大丈夫ですか？



## 耐震診断

建物の築年や構造などを地震に対する強さを総合的に検討することです。



## 耐震改修

耐震診断によって、不足している部分を改めることです。壁を新たに作り、接合部を強くするなどの工事をします。

